

第13期(2018年3月期)第2四半期決算説明会

2017年11月22日



アジアパイルホールディングス株式会社

目次

I. 決算のポイント、主なトピックス	2
II. マーケットの動向	10
III. 第13期(2018年3月期)第2四半期決算概要(連結)	15
IV. 経営概況	20

I . 決算のポイント、主なトピックス

I-1 決算のポイント

■ 2018年3月期 第2四半期業績の概況

連結売上高は、373億円となり、前年同期比4.4%の増収となりました。

利益面は、営業利益が13億円（前年同期比▲0.7%減益）、経常利益は12億円（前年同期比0.0%）となりました。

■ 国内、海外の状況

国内業績は、売上高が前年同期比増収となりましたが、営業利益は、研究開発費の増加により、前年同期比減益、経常利益は、ほぼ前年同期並みとなりました。

海外業績は、PV社の業績が順調に推移しており、売上高、利益とも増加し、連結業績に寄与しました。

■ 部門別売上高

コンクリートパイルは、大型物件を中心に工期が長期化したことから減収となりましたが、鋼管杭、場所打ち杭は増収となりました。特に、場所打ち杭は好調です。

I-2 主なトピックス

国内生産

- 高強度123N杭の生産体制整備
今年度中に自社10工場中の9工場にて、生産可能となる見込み。

国内施工

- 工事管理のICT化導入への取組
施工現場で実用化に向けて検証を実施中。順次施工現場に導入予定。
- 施工体制、施工能力の強化
人材育成、人員増強

I-3 主なトピックス

国内営業体制

■販売施工会社の設立

2017年8月 群馬大同工業株式会社と共同で販売施工会社の設立を
を発表し、北関東地区での業容拡大を目指す。

新会社名:「ジャパンパイル関東北販売株式会社」

■本社及びグループ各社の事務所移転

2017年9月 業務の一層の効率化を図る為、本社及びグループ各社の事務
所を移転。

技術開発

■JSHR工法の性能拡大

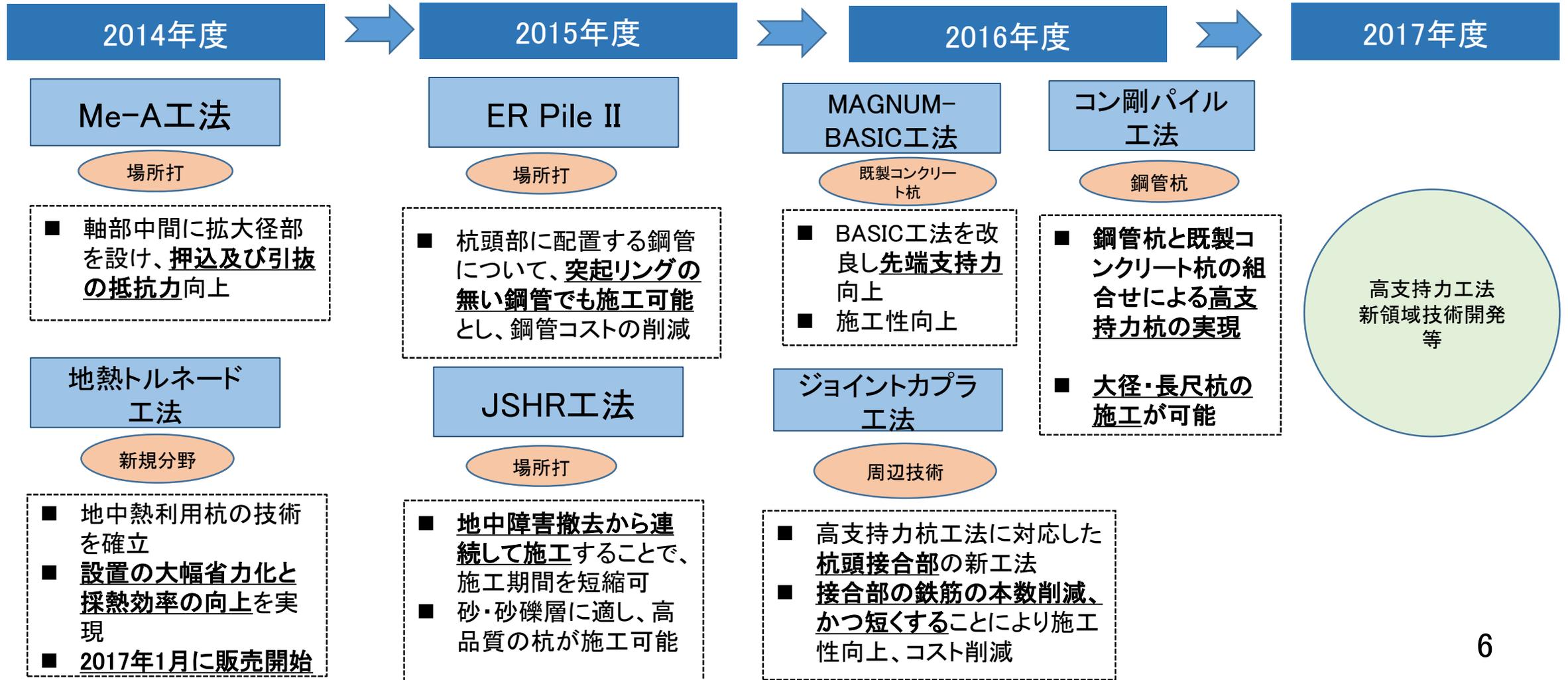
2017年8月 拡底範囲拡大追加評定の取得

■新工法の実施工

2017年11月 「地熱トルネード工法」の実施工。

技術開発 新工法一覧

■ 大型工事への対応、高支持力実現のための多面的な技術開発を継続しています



I-4 主なトピックス

海外展開

■ ベトナム

- 2017年 7月 PVIC社（2017年3月設立の建物外壁パネル、シートパイル製造販売会社）が外壁パネルの製造を開始
- 8月 ロンアン工場の第二ラインの稼働開始

■ ミャンマー

- 2017年 9月 VJP社が建設を進めてきたティラワ工場が完成間近となり、開所式を実施
- 11月 試験杭の製造を開始

ベトナム

(PVIC社)



(ロンアン工場第二ライン)



ミャンマー

(2017年9月 VJP社 ティラワ工場の開所)

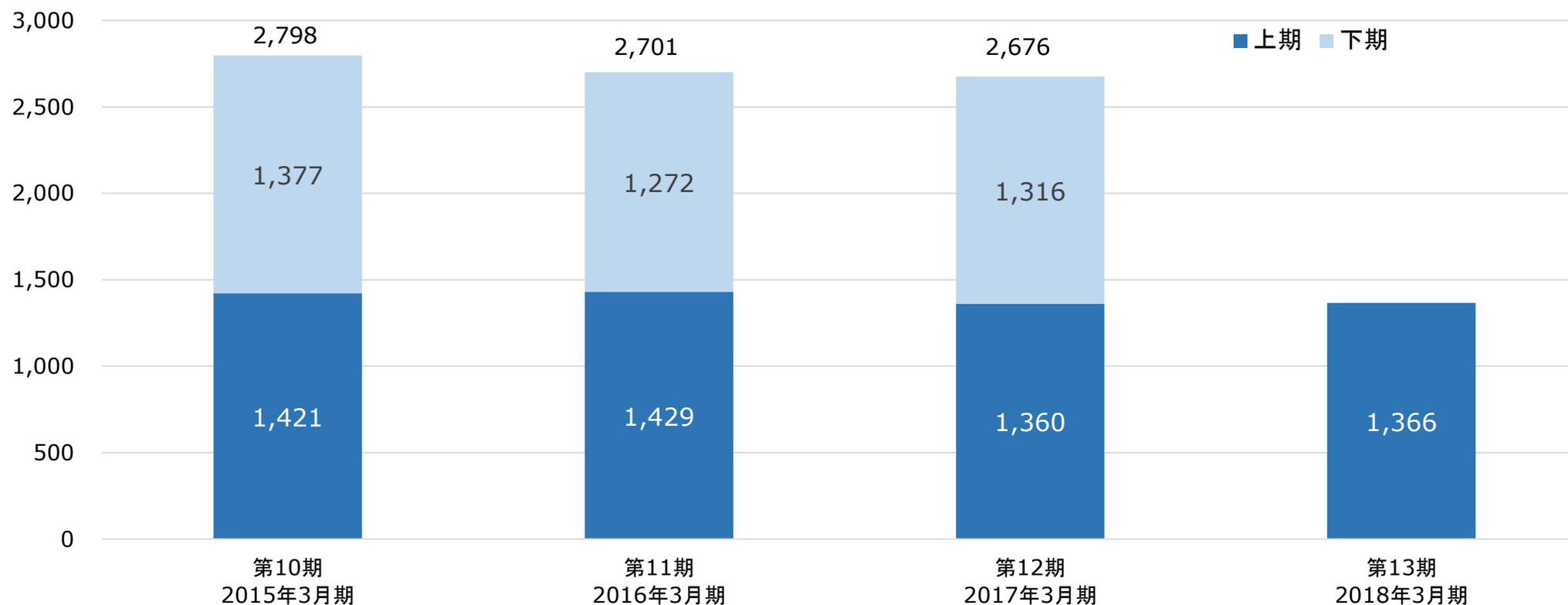


Ⅱ. マーケットの動向

Ⅱ-1 全国コンクリートパイロ出荷量

(単位：千トン)

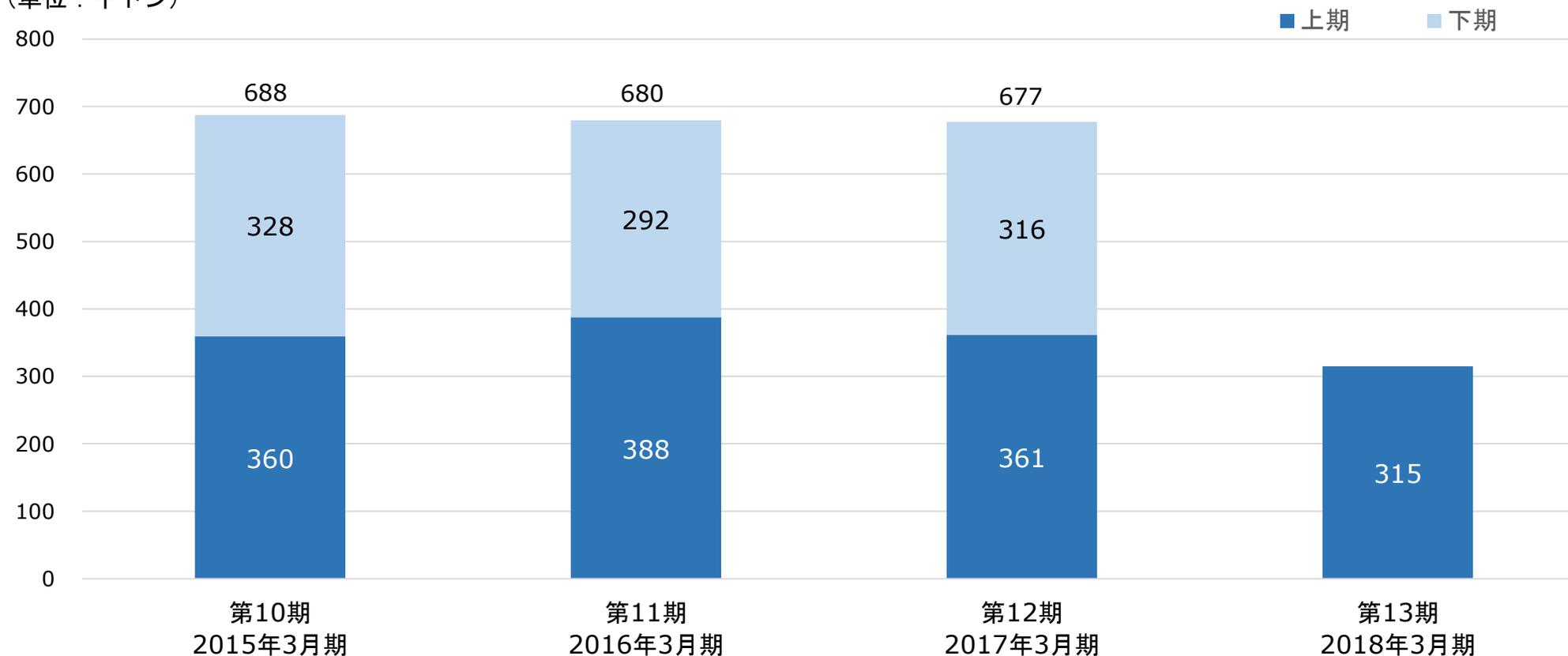
(出典)一般社団法人 コンクリートポール・パイル協会資料



■ 2017年度上半期は、対前年同期比で0.4%増加。

Ⅱ-2 当社グループのコンクリートパイプ完成量(国内)

(単位：千トン)



■2017年度上半期は、前年同期比で▲13%の減少。

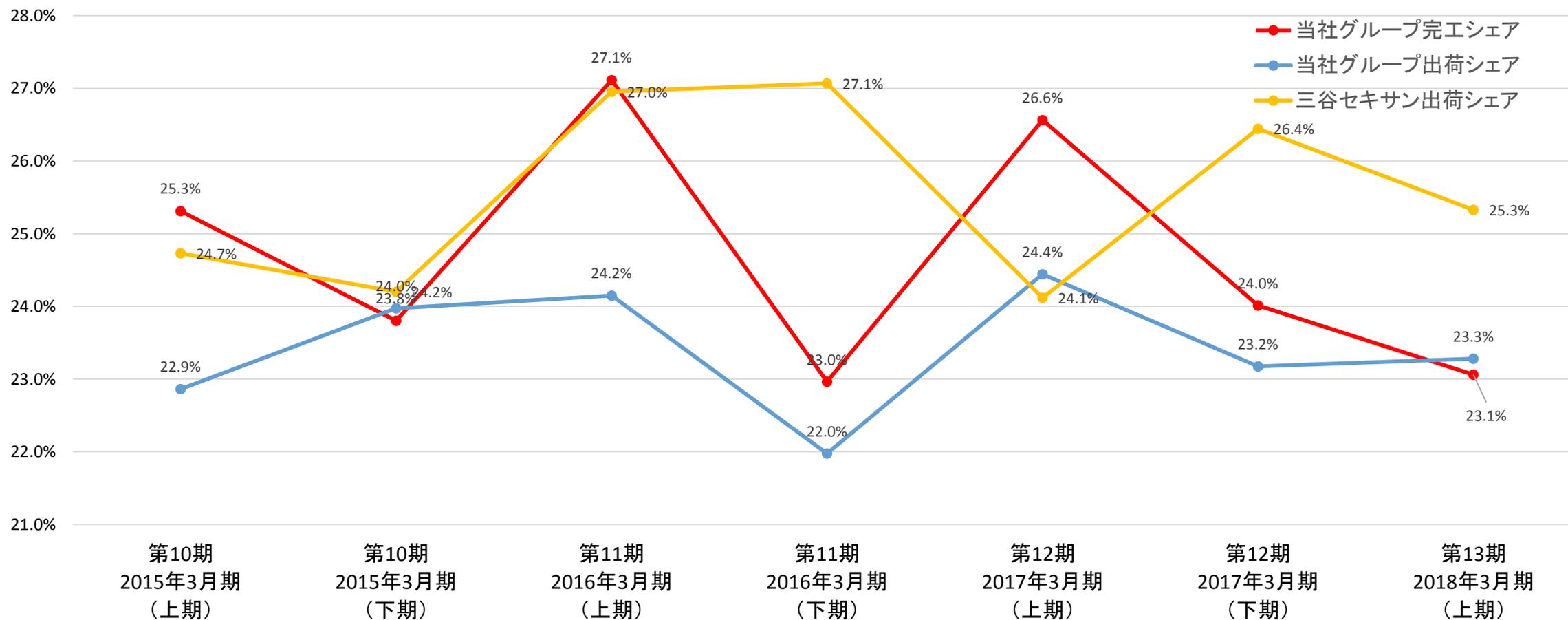
Ⅱ-3 コンクリートパイルのシェア（国内）

（出典）一般社団法人 コンクリートポール・パイル協会資料および当社社内資料

		第10期 2015年3月期 (上期)	第10期 2015年3月期 (下期)	第11期 2016年3月期 (上期)	第11期 2016年3月期 (下期)	第12期 2017年3月期 (上期)	第12期 2017年3月期 (下期)	第13期 2018年3月期 (上期)
当社グループ	完工量(千t)	360	328	388	292	361	316	315
	シェア	25.3%	23.8%	27.1%	23.0%	26.6%	24.0%	23.1%
三谷セキサン	出荷量(千t)	325	330	345	280	332	305	318
	シェア	22.9%	24.0%	24.2%	22.0%	24.4%	23.2%	23.3%
日本コンクリート工業	出荷量(千t)	108	132	113	104	108	105	142
	シェア	7.6%	9.6%	7.9%	8.2%	7.9%	8.0%	10.4%
日本ヒューム	出荷量(千t)	132	119	123	127	131	118	126
	シェア	9.3%	8.6%	8.6%	10.0%	9.6%	9.0%	9.2%
トーヨーアサノ	出荷量(千t)	91	107	75	83	72	98	86
	シェア	6.4%	7.7%	5.3%	6.6%	5.3%	7.4%	6.3%
その他	出荷量(千t)	413	357	388	333	389	342	348
	シェア	29.1%	25.9%	27.1%	26.2%	28.6%	26.0%	25.5%
業界全体	出荷量(千t)	1,421	1,377	1,429	1,272	1,360	1,316	1,366
	シェア	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

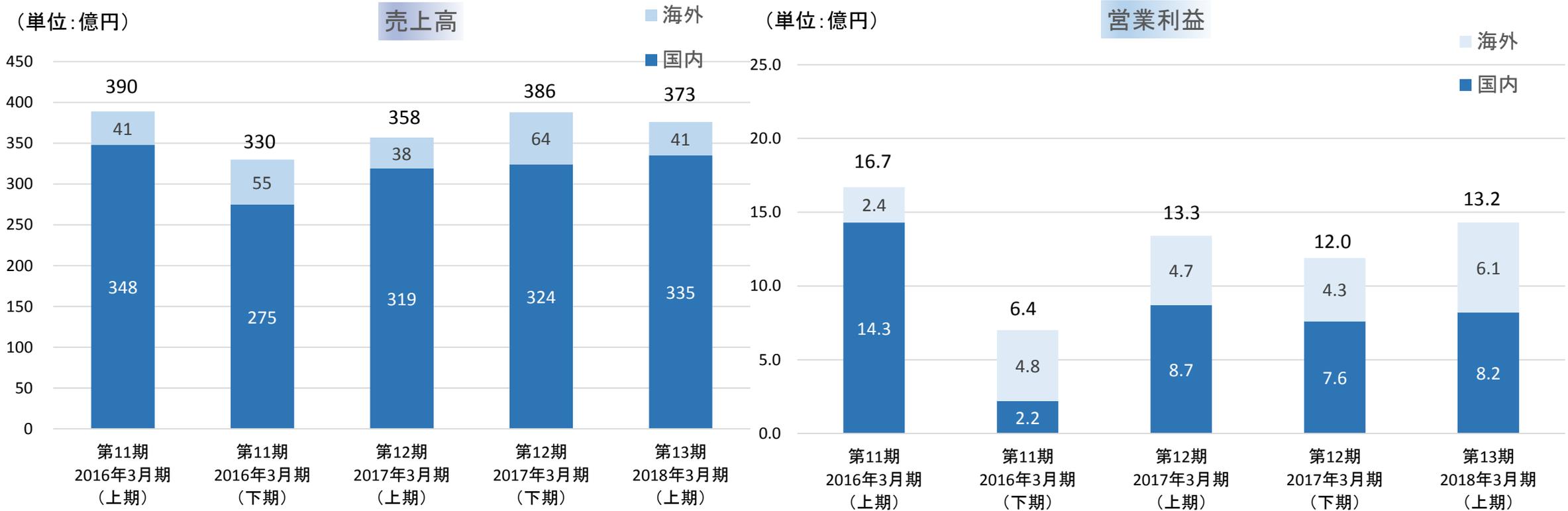
Ⅱ-4 コンクリートパイルのシェア推移(国内)

(出典)一般社団法人 コンクリートポール・パイル協会資料および当社社内資料



Ⅲ.第13期(2018年3月期)第2四半期決算概要(連結)

Ⅲ-1 連結売上高・営業利益推移



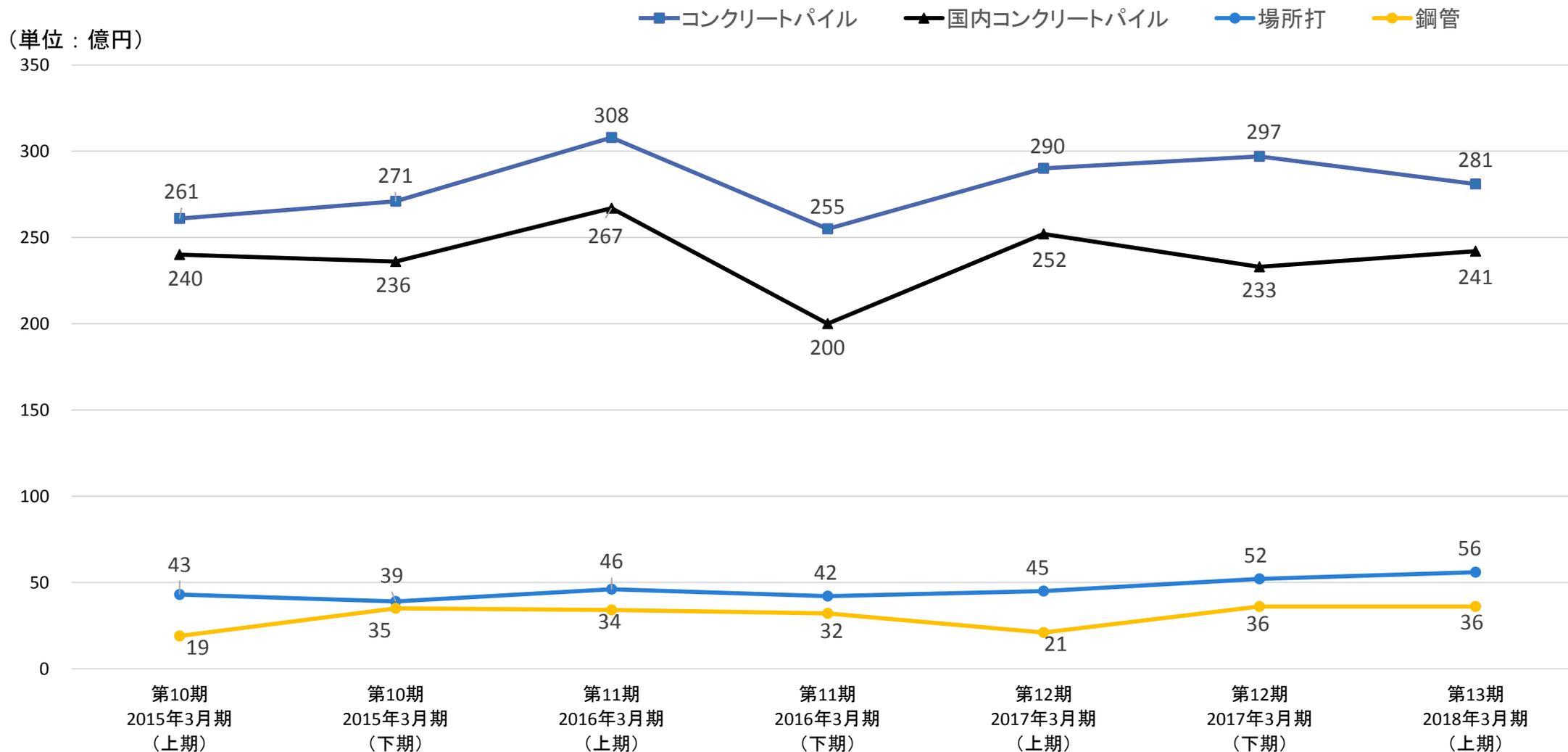
■ 売上高は前年同期比+4.4%の増収、国内・海外共に増収

■ 営業利益は前年同期比と略同水準

■ 国内は▲5.2%の減益、海外は+25.2%増益

(注) 売上高、営業利益の国内・海外内訳については連結調整前の数字を表示しております。

Ⅲ-2 部門別連結売上高推移



Ⅲ-3 連結損益計算書

	第10期 2015年3月期 (上期)	第10期 2015年3月期 (通期)	第11期 2016年3月期 (上期)	第11期 2016年3月期 (通期)	第12期 2017年3月期 (上期)	第12期 2017年3月期 (通期)	第13期 2018年3月期 (上期)	第13期 2018年3月期 (計画)
(単位:百万円)								
売上高	32,485	67,169	39,003	72,078	35,806	74,422	37,365	80,000
売上総利益	5,239	10,613	5,602	10,097	5,159	10,463	5,264	11,310
営業利益	1,640	3,573	1,679	2,324	1,334	2,534	1,325	3,000
経常利益	1,718	3,666	1,671	2,235	1,203	2,382	1,203	2,750
税金等調整前当期純利益	1,710	3,415	1,679	2,286	1,196	2,198	1,214	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,157	2,396	1,132	1,432	846	1,629	761	1,800
売上高総利益率	16.1%	15.8%	14.4%	14.0%	14.4%	14.1%	14.1%	14.1%
自己資本当期純利益率	—	10.2%	—	5.8%	—	6.3%	—	6.6%

(第13期の自己資本当期純利益率は業績および配当の予想より算出)

Ⅲ-4 連結キャッシュ・フロー計算書

	第10期 2015年3月期 (上期)	第10期 2015年3月期 (通期)	第11期 2016年3月期 (上期)	第11期 2016年3月期 (通期)	第12期 2017年3月期 (上期)	第12期 2017年3月期 (通期)	第13期 2018年3月期 (上期)
(単位:百万円)							
税金等調整前当期純利益	1,710	3,415	1,679	2,286	1,196	2,198	1,214
減価償却費	708	1,514	847	1,861	986	2,059	970
売上債権の増減(△は増加額)	△ 275	291	△ 3,038	953	△ 4,444	△ 5,817	△ 478
たな卸資産の増減(△は増加額)	△ 13	△ 834	164	△ 571	△ 1,348	△ 1,102	△ 1,586
仕入債務等の増減(△は減少額)	△ 561	832	1,687	△ 2,024	2,378	3,371	567
その他	△ 910	△ 969	△ 1,793	△ 1,635	554	1,586	△ 398
I. 営業活動によるキャッシュフロー	658	4,249	△ 453	870	△ 676	2,296	288
有形固定資産の増減	△ 1,020	△ 3,080	△ 966	△ 3,529	△ 1,040	△ 2,468	△ 1,977
投資有価証券の取得	△ 1	△ 2	△ 1	△ 33	△ 1	△ 14	△ 2
その他	565	△ 57	△ 373	△ 339	△ 5	△ 19	△ 37
II. 投資活動によるキャッシュフロー	△ 455	△ 3,140	△ 1,341	△ 3,902	△ 1,048	△ 2,502	△ 2,017
借入金・社債の増減	△ 678	△ 988	2,162	3,289	△ 510	360	2,192
配当金の支払	△ 248	△ 456	△ 252	△ 502	△ 218	△ 425	△ 362
その他	△ 184	△ 572	△ 110	△ 116	△ 780	△ 1,113	△ 161
III. 財務活動によるキャッシュフロー	△ 1,112	△ 2,016	1,800	2,670	△ 1,508	△ 1,177	1,668
IV. 現金及び現金同等物の期末残高	10,651	10,741	10,675	10,301	6,874	8,759	8,611

IV. 経営概況

IV-1 経営概況

1. 本年度上期の状況

(1) 景気の一般状況

(2) 業界の動向

IV-2 経営概況

2. 本年度上期の特徴

(1) 受注は順調

(2) 工事管理厳格化による完工遅延

(3) コスト上昇の価格転嫁も進む

(4) 大型工事比率上昇傾向の継続

(5) 場所打ち部門の好調

(6) 海外事業は順調

IV-3 経営概況

3. 下期の展望

- (1) 利益率改善が見込める
- (2) 売上高も下期増加の見込み
- (3) 工事データの情報システム化の進展
- (4) 新工法の活用の積極化
- (5) ミャンマーでの工場生産の開始

IV-4 経営概況

4. 今後の方向

(1) 工事部門の増強

(2) システム化の推進

(3) 海外事業への投資の拡大

5. 最後に



アジアパイルホールディングス株式会社

Building the foundations of Asia

アジアの基礎をきずく。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、環境の変化等により、実際の結果と異なる可能性があることにご留意下さい。

また、本資料の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性については一切保証いたしません。